



sousei akita

曹青秋田

秋田名「佛」 ～満蔵寺・黒木淳祐師筆の天女様～



## 平成二十九年 通常総会

四月十四日午後三時半より、秋田ビューホテルにて、平成二十九年 通常総会が開催されました。平成二十八年 度事業・決算報告並びに、平成二十九年 度事業計画・予算案が審議され承認されました。並びに、今期は「出家を問う」という研修テーマで進めていくことも承認されました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、新会長に第十一教区円通寺・菅原芳徳師が選出されました。次いで、会長の推薦により、副会長に第十五教区久昌寺・赤石基彦師、第十教区福蔵寺・栗谷大三師が就任し、中村卓道前会長が新顧問に承認されました。

### 会長職を拝命して



会長 菅原 芳徳

今期より秋曹青会長を拝命致しました、十一教区(鹿角)円通寺住職の菅原芳徳と申します。

平成二十九年、三十年と二年間の任期であります。先達諸老師方のご指導ご鞭撻(べんたつ)を仰ぎ、後輩諸師からの叱咤(しちた)を励みに、精進弁道して参りたいと思ひます。

今期の研修テーマは「出家を問う」とさせて頂きました。私自身、お寺の生まれでもなければ、親族に關係者もない中、ご縁を頂戴しての僧侶の道でありましたので、四十歳を超えた現在、今一度、出発点の意を問い返し、これからの指針をはつきりさせたいとの思いにかられてのテーマ。方針でもあります。同時に、二十代・三十代の青年宗侶にとっても、出家の意義を改めて問い直し、自身の立ち位置を再確認して頂く契機としてほしいとの思いがあります。

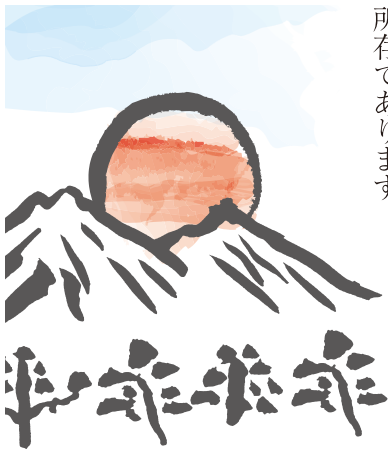
私達が選んだ生き方である『僧

侶』自身が目指すべき道、そして地域・社会から求められるありようを少しでも明確にしていく一助になることが出来たら、と願っております。

六月下旬に最初の事業として、弁道会を今期のテーマそのままです。スタート致しました。常に自身に問いを持ち合わせ、考えを深めていくなかで、共に悩みながら懸命に試行錯誤している仲間(法友)たちと対話し、語り合う——そんな青年会でありたいと思ひます。

現在、会員は百四十名程であり、そのなかでまだ会に参加されたことがない方々も数多くいることと思ひます。是非共、まず一歩、秋曹青の活動に歩み寄り、ご参加して下さい。ことを待ち望んでおります。

もとより会長職を担うには荷が重い未熟者でございますが、真つ直ぐに志を持ち任期を務めていく所存であります。



### 「只」の有意性を信じて



副会長 赤石 基彦

菅原芳徳新会長より今期副会長への留任要請を受けたのは、春も間近に控えた頃でした。会長は多くを語りませんでした。その静かな話しぶりから、大役に臨む意欲を感じました。かねてより私は、副会長を一期で退任して、残りの期間を一会員として静かに参加・協力させていただこうと考えていました。しかし、要請を受け「何かまだ私にお役に立てることがあるなら」と考えを改めて、再度副会長を務めさせていただくことにしました。

とはいえ、自分のとりえといえ、代議員・書記・事務局長を歴任し、活動に多く関わってきたことぐらいです。その中で感じたことは、秋曹青は、秋田県宗務所様はじめ県内御寺院様の多大なるご理解とご協力により支えられ、純粹に会員がその時々で学びたいことを学ぶことができ、宗侶としても人

としても研鑽(けんざん)を積むことのできる会であるということです。また県内外で寺院相互の交流やご縁ができて、人を覚えることができるのも大きな魅力です。近年は新規会員も増え、参加者の顔ぶれも大きく変わりました。加入して間もない会員諸兄に、副会長が表立って秋曹青の来し方(きたかた)を話す機会はほとんどないと思ひます。退会までの年数を片手で数えられるようになって、私も活動に積極的に参加するのと、会員諸兄へのいい刺激となり、またそれを通して秋曹青の過去や大切なことを、少しでもお伝えすることになると思っています。これが副会長として会長を支え、秋曹青の運営に協力する以外に、自分に与えられた大切な役目であると信じています。

皆様、二年間どうぞ宜しくお願いいたします。



### 副会長を拝命して



副会長 栗谷 大三

このたび、ご縁をいただきまして、副会長の大役を務めさせていただきますことになりました。お声をかけていただいた時、まさか自分がということ、そして自分でのだろうかというのが正直な気持ちでした。

思えば、青年会の活動に参加させていただいて十年あまり。十四期亀谷会長の時の会計から始まり、代議員・研修部員・広報部員・WEB委員と様々な役を経験させていただきました。その経験と、青年会を通じた人との出会いが、今の私にとって大切な財産となっております。その恩返しをさせて頂きたいと思つたことも、今回副会長の役を引き受けさせて頂いた理由の一つです。

今期のテーマ「出家を問う」は、私にとっても大きな問い掛けです。大学を卒業し、社会人として四年間働いた私にとって、何故修行

したかということが、僧侶としての原点であり活力となつています。今一度自分自身を見つめ直し、初心に戻つて学んで行きたいと思つています。

これから二年間、至らない点は多々あると思いますが、皆さまからのご指導を頂きながら、精一杯務めて参りたいと思つています。そして、少しでも菅原会長の力になることができれば幸いです。二年間どうぞよろしくお願ひいたします。

### 事務局長を拝命して



事務局長 松井 祐司

この度、第十九期事務局長を拝命させて頂く事となりました、十一年一教区長年寺副住職・松井祐司と申します。

中村前会長のもとでは、代議員並びに事業部員を勤めさせて頂きましたが、積極的に関わっていたとは言えず、行持も休みがちな自分に、事務

局長という大任を全う出来るのか、当初は不安でありました。

その思いを田中前事務局長にお話したところ、様々な方との出会いがあり、組織運営の良い勉強にもなる」との体験談でした。まだ副住職という立場で、そのような経験の少ない自分にとっては何より有り難い事だと感じ、さらには「外に出て人様の役に立ちなさい」と仏様からの指導であると思ひ、引き受けさせて頂きました。

来年は発足四十周年の節目を迎えますが、長年にわたり先輩諸老師が模索し築き上げた、伝統ある秋曹青です。今日自分が関わり、研鑽を積みさせて頂くことは、大変有り難い事と感謝致します。

浅学非才な自分ですが、幸ひ菅原新会長はじめ執行部の諸師は、様々な事に対して博識であり、頼りになる方々ばかりです。

他に適任の方が大勢おられる中で声をかけて下さつた新会長のためにも、また、自分自身の修行という意味でも、皆様からご助言を頂きながら、この二年間、大任を精一杯勤めさせて頂く所存であります。どうか宜しくお願ひ申し上げます。

### 弁道会「出家を問う」

私にとつての出家とは何か  
その意味と意義を考える

六月二十二日、第十九期秋曹青初の行事となる弁道会が開催されました。曹洞宗総合研究センター専任研究員・宇野全智師をお招きし、ただお話を聞くのではなく、ディスカッション・グループワークを用い、気付きの共有をしながら、出家について考えるワークショップ(体験型講座)形式でご講義いただきました。



宇野 全智師



※詳細は七ページの「弁道会に随喜して」をお読み下さい。



## 平成28年度 秋田県曹洞宗青年会収支決算書

自 平成28年4月1日  
至 平成29年3月31日

総収入	2,367,253
総支出	2,162,032
収支残高	205,221

## 収入の部

単位：円

項 目	28年度予算額	28年度決算額	増 減	摘 要
1 会費	1,170,000	1,281,000	111,000	
1. 年会費	670,000	700,000	30,000	5,000円×140名
2. 賛助会費	500,000	581,000	81,000	
2 補助金	500,000	500,000	0	宗務所補助
3 寄付金	1,000	0	▲ 1,000	
4 雑収入	863	116	▲ 747	受取利子
5 繰越金	586,137	586,137	0	前年度繰越金
合 計	2,258,000	2,367,253	109,253	

## 支出の部

項 目	28年度予算額	28年度決算額	増 減	摘 要
1 事業費	1,050,000	950,026	▲ 99,974	
1. 研修費	800,000	744,154	▲ 55,846	弁道会 随聞会 住職学等
2. 広報	250,000	205,872	▲ 44,128	会報印刷、HP 運営他
2 事務費	250,000	270,719	20,719	
1. 事務記録費	40,000	55,685	15,685	事務用品等
2. 通信費	130,000	161,162	31,162	各種案内発送等
3. 交際費	60,000	50,000	▲ 10,000	祝賀等
4. 慶弔費	20,000	3,872	▲ 16,128	電報等
3 事務局費	40,000	40,000	0	事務機器使用経費
4 会議費	40,000	37,287	▲ 2,713	
1. 総会	20,000	20,000	0	総会補助
2. 役員会	20,000	17,287	▲ 2,713	代議員会
5 負担金	179,000	189,000	10,000	全曹青会費、東北地協会費
6 補助金	600,000	600,000	0	出向補助、随聞会補助等
7 積立金	50,000	50,000	0	東北大会準備金
8 予備費	49,000	25,000	▲ 24,000	総会会場使用料等
合 計	2,258,000	2,162,032	▲ 95,968	

## 東北大会準備金 H29.3.31 現在

積立金合計	2,603,000
-------	-----------

尚、各項目間の流用を認めるものとする。

## 平成28年度 事業報告・ボランティア活動報告

日 付	内 容	場 所	人 数
<b>平成28年</b>			
4月2日	東北地協: 常任・定例幹事会	仙台市 ホテルグランテラス	2名
4月12日	通常総会	秋田市 ビューホテル	44名
4月28日	執行部会	秋田市 蔵間	9名
5月8日	東北管区: 祈りの道	岩手県 沿岸部	5名
5月11日	第1回 代議員会	秋田市 にぎわい交流館AU	21名
5月16日	全曹青: 定期評議員会	東京都 曹洞宗檀信徒会館	2名
5月17日	全曹青: 講演 定期総会		2名
6月7日	第30回 弁道会 「災害から家族を、寺院を、地域を守るために今できること」 大分県 善隆寺副住職 自覚大道 師	秋田市 禅センター	28名
7月1日	第2回 代議員会	秋田市 文化会館	27名
8月1~3日	男鹿なまはげ教室2016	男鹿市 雲昌寺 他	26名
8月31日	「曹青秋田」第81号 発行		
9月10・11日	東日本大震災 行茶活動・慰霊供養	岩手県大槌町	4名
9月19日	住職学研修 「悲しみの先にあるもの」 藤里町 月宗寺 袴田俊英 老師 第8回 祈りのつどい	秋田市 東泉寺	17名
9月28日	第3回 代議員会	秋田市 禅センター	23名
9月30日	台風10号災害 復興ボランティア	岩手県岩泉町	6名
10月20日	台風10号災害 復興ボランティア	岩手県岩泉町	10名
11月9日	東北地協: 常任幹事会 東北地方集会「宮城大会」	仙台市 仙台サンプラザ	会長出席 14名
11月16日	全曹青: 臨時評議員会・災害復興支援部研修会	東京都 曹洞宗檀信徒会館	2名
11月30日	東北地協: 東北復興祈願法要	福島県 正法寺	3名
12月21日	曹洞宗復興支援室分室・全曹青災害復興支援部: 国見町・仮設住宅年越し行茶	福島県国見町 大木戸ふれあいセンター	5名
<b>平成29年</b>			
2月16日	執行部会	秋田市 たうら	15名
2月26~ 28日	第34回随聞会 提唱 正法眼蔵 古鏡 大本山永平寺 単頭 中西道信 老師	福井県 大本山永平寺 他	25名
2月21日	東北地協: 常任幹事会	仙台市 ホテルグランテラス	会長出席
3月10日	東日本大震災慰霊追悼夜法要	福島市 円通寺	5名
3月11日	東日本大震災慰霊追悼法要	岩手県沿岸 宗門寺院	20名
3月15日	福島曹青: 震災復興イベント	郡山市 市民文化センター	2名
3月27日	第4回 代議員会	秋田市 禅センター	22名
3月30日	「曹青秋田」第82号 発行		

は秋曹青主催事業

## 平成29年度 秋田県曹洞宗青年会収支予算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

総収入	1,907,000
総支出	1,907,000
収支残高	0

## 収入の部

単位：円

項目	28年度予算額	29年度予算額	増減	摘要
1 会費	1,170,000	1,200,000	30,000	
1. 年会費	670,000	700,000	30,000	5,000円×140名
2. 賛助会費	500,000	500,000	0	
2 補助金	500,000	500,000	0	宗務所補助
3 寄付金	1,000	1,000	0	
4 雑収入	863	789	▲74	受取利子等
5 繰越金	586,137	205,211	▲380,926	前年度繰越金
合計	2,258,000	1,907,000	▲351,000	

## 支出の部

項目	28年度予算額	29年度予算額	増減	摘要
1 事業費	1,050,000	950,000	▲100,000	
1. 研修費	800,000	700,000	▲100,000	弁道会・随間会・住職学等
2. 広報	250,000	250,000	0	会報、HP運営等
2 事務費	250,000	250,000	0	
1. 事務記録費	40,000	40,000	0	事務用品等
2. 通信費	130,000	130,000	0	各種案内発送等
3. 交際費	60,000	60,000	0	祝賀等
4. 慶弔費	20,000	20,000	0	電報等
3 事務局費	40,000	40,000	0	事務機器使用経費
4 会議費	40,000	40,000	0	
1. 総会	20,000	20,000	0	総会補助
2. 役員会	20,000	20,000	0	代議員会等
5 負担金	179,000	189,000	10,000	全曹青会費、東北地協会費
6 補助金	600,000	340,000	▲260,000	出向補助等
7 積立金	50,000	50,000	0	東北大会準備金
8 予備費	49,000	48,000	▲1,000	
合計	2,258,000	1,907,000	▲351,000	

尚、各項目間の流用を認めるものとする。

平成29年度 秋田県曹洞宗青年会事業・活動計画

日付	内容	場所	備考
<b>平成29年</b>			
4月14日	通常総会	秋田市 ビューホテル	
5月7日	全曹青:中央研修会・定期評議員会	曹洞宗檀信徒会館	
5月8日	全曹青:定期総会		
5月8日	東北地協:常任・定例幹事会		
6月22日	第31回 弁道会		
10月30日	東北地方集会「山形大会」		
11月22日	住職学研修		
	全曹青:臨時評議員会・研修会	曹洞宗檀信徒会館	
<b>平成30年</b>			
2月27日	第35回 随聞会		
2月	東北地協:常任幹事会		

※災害復興支援ボランティア活動と代議員会の開催、会報「曹青秋田」の発行は随時行う

は秋曹青主催事業

弁道会に随喜して

六教区 春光寺副住職 荻津 賢廣

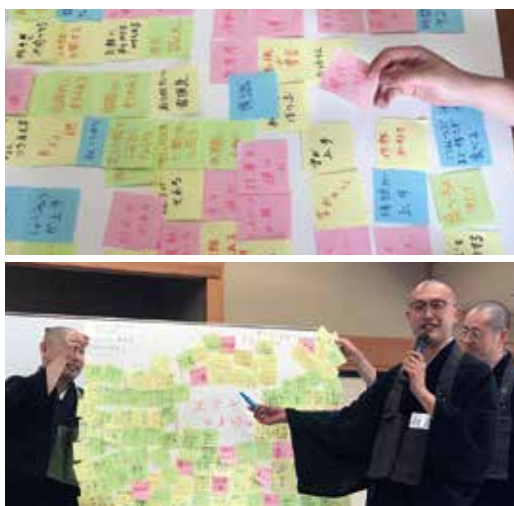
今回は私にとって、代議員に任命されてから初めての講義でした。昔から講義と言うものが苦手で、すぐ眠くなってしまう私ですが、最初から最後まで楽しく随喜することが出来ました。

今回のテーマは「出家を問う」～私にとつての出家とは何か その意味と意義を考える」でした。初めは、なんて難しいテーマだと思いましたが、講義を聞いているうちにそんな考えも変わりました。

まず用意して頂いたレジメをほとんど使わずに、ディスプレイ形式で進んでいったことに驚きました。最初にアイスブレイク(参加者の緊張をほぐし、議論を活性化させるための簡単なゲーム)を行い、次にブレインストーミングという方法で議論を進めていきました。つ目のお題は「ステキなお坊さん!」ってどんな人?でした。皆、自分が思う条件を付箋に書き、それを模造紙に貼り、グループ内でまとめ、発表しました。私のグループでは「内面」「外見」「技術」「社会性」という四つの大きな枠組みを作り、自分の書いた条件が何処に当てはまるかを考えながらディスプレイを進めていきました。話し合っていくうちに、付箋は「内面」や「社会性」に多く貼られていき、まとめとしては、イケメンであったり、お経が上手であるよりも、地域行事に積極的に参加したり、家族・檀家さんの事を大切に思ってお坊さんこそが「ステキなお坊さん」という結論に達しました。

二つ目は「出家者・僧侶である私が大切にしたいこと」でした。先程とは違い、皆で意見を出し合うのではなく、常に喋るのは人だけで、他は話を聞きながら模造紙に自分の思ったことを書く。話し終わったら、次は他の人が話し始める。ある程度話したら一人を残して別のグループに混ざり、自分たちのグループではどんな意見が出たのか話し合う――というものでした。私のいたグループでは「月参り」をしているお寺が多かったので、その事について話し合いました。その中でもやはり、檀家さんとの何気ない会話に重点を置くことを大切にしていきたいと思えました。

今回は、教区内では普段話さないような事を年の近い会員と話すことができ、とても刺激を受けました。今日の経験を生かして、これからは「ステキなお坊さん」になれるように、日々精進していきたいと思えます。





## 活動紹介

## 第三教区 龍源寺『彫像会』

写経・写仏などの経験はお有りでも、殊に「仏像を彫る」という体験をお持ちの方はあまり多くないので無いでしょうか。

由利本荘市矢島町・龍源寺様において、毎年珍しい催しが開かれます。京都から仏師さんを迎え、檀信徒様や有志の方々と共に手のひらサイズのお地藏様を彫る「彫像会」について、土屋泰順住職にお話を伺いました。

「講師をお勤め頂いている京都府の富田樹雲さん・陸海さんご兄弟とは、元々は仏像や開山牌修復でのご縁がありました。」

その折、東日本大震災の被害に遭いお仏壇等を失われ、何に手を合わせたらいいのか：とお悩みであった多くの方々の為に、皆で重地藏を彫りました。そのご活動をぜひ地元の方々にも知って頂けたらと思います、お願いした次第です。」

催しは朝九時頃から始まり、あらかじめ大まかに成型された檜材を、

貸出しの彫刻刀で削って完成を目指します。講師さんの丁寧なご説明と製作資料に沿いつつ一心に彫り進めるも、完成はお昼を挟んで夕方近くにもなります。

彫像中は工房スタッフの方々から四十人程の参加者一人一人を廻って、安全で円滑な作業のサポートをして下さいます。会場内は檜の良い香りと和気藹々とした雰囲気のかに、水を打った様な静寂に包まれるひとときも。

「この彫像という行は、坐禅や写経に通じるものが多いと感じています。自身が手を合わせるものを自身で生み出す事は、そのまま仏心に繋がってゆくように感じます。祈りや供養という為だけでなく、只管打坐という禅本来の心の有りようにも、ご参加の方には一歩近づいて頂けるのではないかと思っております。」

昨年参加して下さった方からは六地藏を彫り上げるまで：というお言葉を頂きました。この会を続けていく事を大切なつとめと考えております。」

完成した可愛らしいお地藏様は、最後の開眼法要のあと参加者と共に帰路につきます。一体一体が異なる仕上がり、特に面相には製作者の心持ちがよく顯われるようで、お隣同士手元を覗き込んで、ご自身や身近な方を連想して笑い合う様子がとても印象的でした。これまで夏の開催でしたが、今年は十月頃の少し涼しい時期を検討しているとの事です。

仏様を「手にして」親しむという体験、中々に稀有であるかもしれません。

(佐藤幸悦 記)



## 九州北部豪雨災害復興支援

七月五日、九州北部地域が集中豪雨による甚大な被害を受けました。特に被害の大きい福岡県・大分県の両青年会に初動の活動資金としてご活用頂くため、七月十四日付にて支援金を五万円ずつ送らせて頂きました。また、二十一日には大館・鹿角・湯沢・横手の各地区において、被災地支援托鉢が行なわれました。八月二日には一教区・白馬寺様を集合場所として、秋田市でも行なう予定です。

曹青秋田／第83号

発行／秋田県曹洞宗青年会

事務局／鹿角市花輪字上花輪13 長年寺内 発行責任者／菅原芳徳 編集責任者／戸澤広悦

秋曹青ホームページ <http://www.sousei-akita.net/>